

教科研究授業（算数・数学科より）

小中一貫教育の一つとして、3校の教職員が、9教科に分かれ、小中9年間の学習のつながりを意識した教科指導を話し合っています。その研究を進めていくための提案授業として、教科研究授業が11月に中学二年生の数学「一次関数」の単元で行われました。

算数・数学科の教職員で大事にしたいと考えていた点は、

①1次関数を身近なものとしてとらえ、自分たちの生活にもつながっていると感じること②グラフの特徴に気づき、それを仲間と共有することでグラフと場面（今回は自分の登下校時にかかる時間とその距離の関係）を結び付けて考



えることができることを体験してほしいという2点でした。子どもたちが主体的に考え、仲間と交流できるような授業になるよう何度も議論を重ねてきました。

当日は、子どもたちが自分でグラフを読み解き、線の傾きで速さの違いを理解していました。その後、先生の「今朝、家を出発してから学校に着くまでの様子を表したグラフ」を見て、グラフに合う先生の行動を交流しました。「傾きがこうなっているから、先生は家に一旦帰ったんじゃない？」「グラフがまっすぐ横になっているから先生止まって！」など、グラフがどうなっているか考えることがで



きました。また、自分の登下校時にかかる時間とその距離を表したグラフを自分で書き、歩く速さを既習の知識から求め、友達と比べることもできました。友達と待ち合わせをしていたからグラフの傾きがないということにも気づき、自分の生活を一次関数で表現できることを実感していました。

研究討議では、①仲間とともに主体的に学べる授業になっていたか（主体的な学びとは何か）②知識・技能の定着をさせることと、仲間がつながり主体的な学びの両立をどう実現するかという2点にしぼり、意見の交流がありました。



講師の先生からは、個人個人で考えた結果、子どもが理解でき、他の人に「聞いてほしい見てほしい」となり、発言してみた！というような場面となれば「仲間とともに主体的に学べる授業づくり」になると助言をいただきました。

2学期の金曜日登校の様子



今学期も予定通り、金曜日登校ができました。1学期同様、小学校の普通の授業や中学校の先生から千たけ小は「国語」桃小は「美術・体育・英語」を出前授業として体験することができました。

今学期の外部講師による出前授業と交流の様子を子ども達の感想（ 囲み）と共に紹介します。

NTTドコモの出前授業

今年度はリモートで行いました。接続のトラブルも少しありましたが、スマートフォン・携帯電話を安全に使うためには、どんなことに気をつけたらいいかを学ぶことが出来ました。



講師の方からは、どの子ども達も一生懸命見ている姿や関心の深さをモニター越しに感じることができたと後日、感想を頂きました。

- スマホの注意点やフリタリングのことがよくわかったので、自分のスマホを持った時に気をつけたい。
- オンラインゲーム中に名前などの個人情報を言ったりしてはいけないことが分かった。
- スマホの利用に気を付けて安心して使いたいと思った。

小小スポーツ交流



この行事は12月9日に千たけ小の運動場でドッチボールというゲームを行いました。当日は、コロナ禍の影響もあり両校の混合チームではなく、千たけ小と桃小のチーム対抗で行いました。今年度初めて行う合同行事に、子ども達は非常に楽しみにしていました。初めは緊張した様子でしたが、体を動かしているうちに緊張もほぐれ楽しい時間が過ごせました。

- 千たけ小と一緒にできて楽しかった。5、6人ボールを当てることができた。
- 点数制ではなかったので、体を思いっきり動かして交流を楽しむことができた。
- 普段の金曜日登校では、一部のクラスの人としか会えないスポーツ交流では桃小と千たけ小の6年生全クラスで交流できたのがよかった。
- 金曜日登校の日は中学の運動場で昼休みに桃小とボールで遊んでいるが、やっぱり桃小は強かった!

